

ABS

2026
APRIL

今回のABS博士の変態MODPCは、NZXTのPCケース H5 Flow v2 Whiteをベースに、アミューズセンターで人気の、コインプッシャー（コイン落とし）を融合、その名も

7.9インチ高精細
IGZO液晶モニター

2.1インチ
円形液晶モニター

水冷CPUブロック

Mini-ITX
マザーボード



メダル投入口

プッシャー機本体

水冷リザーバ &
プッシャー台

メダル&景品
払い出し口

グラフィックカード

NZXT x Coin Pusher



Coin Pusher Fusion

Gaming MOD PC

無限に続く大波に、心ゆくまで挑む、サーファをイメージ。

本作品は、ミドルタワーPCケース内に、コインプッシャー機と、水冷PC一式を組み込んでおります。



NZXT H5 Flow v2 White

メッシュ加工したパネルとシュラウドを搭載。強力なエアフローとグラフィックボードの冷却を実現するミドルタワー型PCケース

H5 FLOW

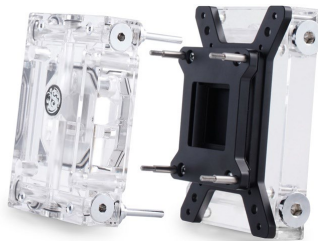
高いエアフロー、最適なGPU冷却、大型ラジエーターサポートを備えたコンパクトなATXミドルタワーケース。



注意

本MODPCには、上記のPCケースを使用しておりますが、外側（外装）以外はMODPC用として、加工（改造）を施しており、本来のPCケースと内部構造が、異なっておりますので、ご注意願います。

水冷ブロックは、MB裏配管が唯一可能な、Bitspower CPU Block Summit Revo AMD Editionを使用し、CPUブロック、ラジエーター、リザーバー、ポンプを全てソフトチューブで、接続しています。



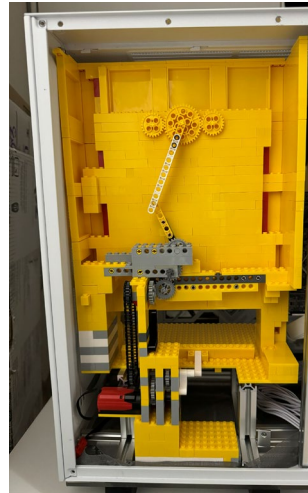
コインプッシャーとは

多数のメダルなどが入れられた筐体内に、追加のメダルを投入し、自動で動く押し板（プッシャー）にメダルを押し出させて、払い出し口に落とすことを目指す、アミューズメントセンターで人気のメダルゲームです。

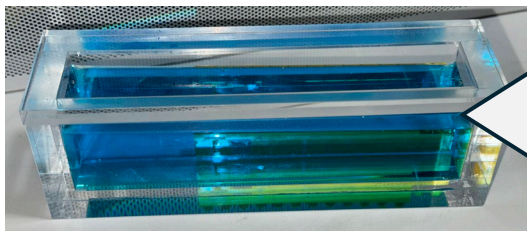


コインプッシャー機本体と、アルミフレーム骨格

コインプッシャー機本体は、某有名ブロック（LEGO）の中華製互換キットを使用。
波を表現する為、PCの水冷リザーバー（特注）を、押し板（プッシャー）として使用しており、そのままの製品キットでは入らないので、ギアやチェーンを追加し組み直している。

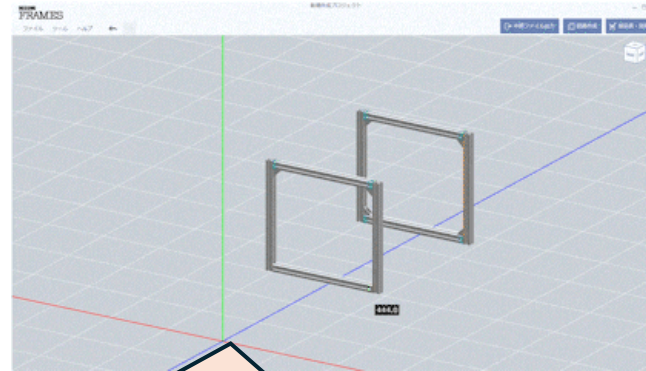


特注（はざいや）の水冷リザーバー



これが押し板
（プッシャー）

ケース内に全て収まらない為、アルミフレーム（ミツミ製）で、骨組みを形成、メダル(景品)取出し口やグラフィックカード置き場、プッシャー機の土台、ラジエーター設置台に使われている。



アルミフレーム筐体設計ソフト「MISUMI FRAMES」で、視覚的で容易に設計ができ、そのまま注文が可能。



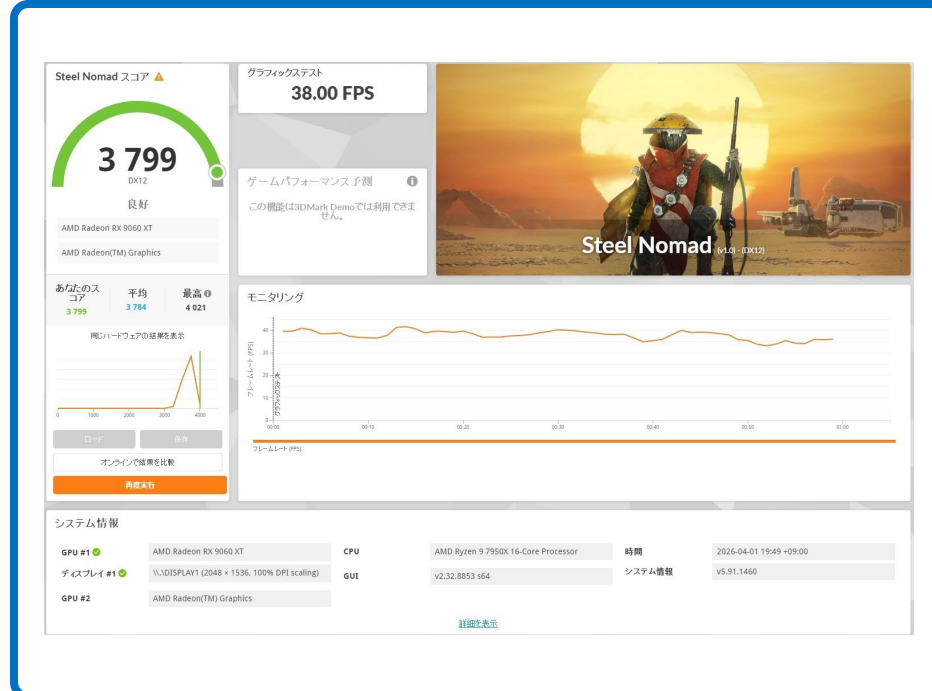
Gamingの名に恥じない性能。
 白色ケースに合わせて、白色パーツで揃えたが、
 メモリーだけは、価格高騰で白色は断念。

PCスペック

パーツ名	メーカー名	型番
CPU	AMD	Ryzen 9 7950X (16C / 32T / L3 64MB / Radeon Graphics / TDP 170W)
MB	GIGABYTE	X870I AORUS PRO ICE (rev.1.0)
メモリ	G.Skill	F5-6000J3636F16GX2-TZ5NR (DDR5-6000 32GB(16GBx2枚) EXPO)
SSD	Crucial	CT500P310SSD8 (512GB)
GPU	ASRock	Radeon RX 9060 XT Steel Legend 8GB OC
ケース	NZXT	H5 Flow v2 White

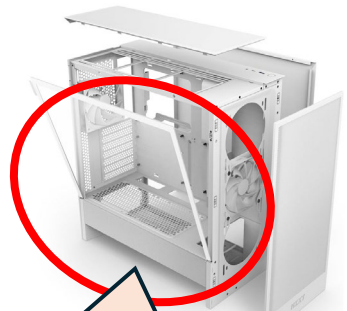


ベンチマーク結果 (3DMARK)



最後にデザインの補足と温度表各示液晶パネルについて。

ガラスパネル側（本来は側面）を正面にしている為、前から見た時に左右対称になる様、PCケース背面コネクタ側にも、前面パネルを取り付けている。



ケースでは側面だが、MODPCでは正面



TIMELYの2.1インチ温度表示パネルにより、メダルゲーム中でも、PCの各温度を確認する事ができます。



多数の表示スキンが用意されており、一から設定する事が可能。

2.1 inch 円形液晶モニター・USB 接続
SCREEN 21



アミューズメントセンターの筐体をイメージして、青色LEDで光らせたりと、見た目にも派手に。

ケース天板には、LEGO（正規）のサーファーショップと、大きなサーフボードに記載された、作品名が目につく。

思っていた以上に、LEDが明るく、メダルゲーム中、若干眩しいのが欠点。

以上で、作品の紹介は終了です。
ありがとうございました。